

第3章 芸術文化振興プランの基本的な考え方

1 将来像

目黒区では、芸術文化に関する意識調査や、芸術文化に関わる団体への意見聴取等を通じて、多くの貴重なご意見をいただきました。

その中では、芸術文化に触れる機会の充実、子どもたちへの文化的な環境の提供、多様な場所での活動展開の促進、情報提供を含むネットワークの質の向上等へのご指摘もありました。

こうした声や前計画で明らかとなった課題を踏まえ、目黒区基本計画に掲げる政策の一つである「芸術文化の香りあふれるまちづくり」の実現と「文化縁」のさらなる充実を目指して、以下の将来像を設定しました。

まちに咲く 芸術文化 みんなが育み つながるまち めぐろ

目黒区は、「まちに咲く 芸術文化 みんなが育み つながるまち めぐろ」という10年後の将来像のもと、芸術文化が単なる鑑賞や専門的な営みにとどまらず、地域の日常や歴史性、人と人との関係性に深く根ざしていくことを目指します。

この将来像に込めた「咲く」「育む」「つながる」という言葉は、目黒区が芸術文化に対して重視する価値を端的に表しています。

「咲く」は、芸術文化が特定の間や専門性にとどまらず、まちなかや生活空間のなかで多様なかたちで花開くことを意味します。誰もが日常のなかで芸術文化と出会い、関わりを持てるきっかけを重視する姿勢を表しています。

「育む」は、芸術文化との出会いや接点を大切に、「触れる」「見守る」といった経験を積み重ねていくことや、芸術文化活動に取り組める環境の質の向上を意味します。時代とともに芸術文化への関わり方も変化するなかで、文化的な土壌を耕していく姿勢を表しています。

「つながる」は、芸術文化を媒介に、分野や世代、地域を越えて人と人が結びつくことで形作られる関係性（文化縁）の広がりを表しています。芸術文化を通じた共感や協働が地域全体に広がり、つながりのある地域社会が生まれることを表しています。

2 芸術文化振興の目標

この芸術文化振興プランの将来像を達成するため、次の3つの基本目標を掲げ、それぞれの施策を相互に関連させながら展開します。

【基本目標1】芸術文化のまちなか展開と機会の拡充

芸術文化が特定の施設内にとどまらず、まち全体に広がる取組を推進します。

公共空間や商業施設、公園、広場等を活用し、誰もが身近に芸術文化を体験できる機会を増やすことで、芸術文化を日常的なものとしていきます。

【基本目標2】芸術文化活動に親しむことができる環境整備

区内の文化的・歴史的資源を活用・継承し、区民の芸術文化活動を支援します。また、誰もがいつでも芸術文化に関する情報を手に取ることができる体制を整備し、社会包摂の視点を取り入れ、すべての人が積極的に芸術文化に関わることができる環境を整えることで、芸術文化活動の持続的な発展を目指します。

【基本目標3】文化縁の形成と地域の連携強化

芸術文化を通じたコミュニケーションを活発にし、「文化縁」を広げることで、地域とのつながりを強化します。行政、芸術文化活動団体、企業、子ども・教育・福祉に関わる様々な分野・団体等が連携し、芸術文化を活かした地域づくりを推進します。

3 成果指標

本計画の将来像の実現に向けて成果指標を設定し、計画の進捗の把握や評価を行います。成果指標の達成状況により、計画や指標の見直しを検討します。

なお、一部の指標については、目黒区基本計画（令和4年3月策定）に掲げる基本目標「人が集い活力あふれるまち」の政策「芸術文化の香りあふれるまちづくり」との整合性を図る観点から、目黒区基本計画と同一の指標を設定します。

成果指標	現状値 (令和6年度)	中間値 (見直し時点)	目標値 (令和17年度)
芸術文化を身近に感じ、芸術文化に触れる機会が多いと感じる区民の割合	36.3%	向上	向上
過去1年間で芸術文化イベントを現地で鑑賞した区民の割合	75.3%	向上	向上
過去1年間で芸術文化活動を現地で実践した区民の割合	39.5%	向上	向上